

2009 年

**2 月 11 日（水曜日） - 天皇陛下御在位 20 年を奉祝申し上げます -**

本日、天皇陛下御在位 20 年を奉祝する京都府北部府民の集いが開かれました。

まずもって、今上陛下におかれましては、本年 1 月 7 日をおもちまして御在位満 20 年をお迎えになられ、誠に慶賀にたえません。また、陛下におかれましては、常に人々の幸せと日本国、世界の平和を願われ、改めまして心から深く感謝を捧げます。

京都丹後地方は、古くから古代天皇家とのおつながりを深く賜っており、第 9 代崇神天皇には竹野媛が、第 11 代垂仁天皇には日葉酢媛がそれぞれ丹後から御后様としてお入りになられ、第 12 代景行天皇は日葉酢媛の御子とされていますし、また丹後には元伊勢のお宮やお社も御鎮座されておりますように、我が国創世期と関わりが深い、いわば日本のふるさと、聖地であると思えます。それだけに、このような尊いご縁を思いますときに、御在位 20 年の喜びを当地の琴線の上に重ねさせていただきながら、いよいよますます深く喜びと感謝が感じられます。

そして本日は、建国記念の日です。本年は、はるか神武天皇のご即位から 2669 年が経過をすると教えていただいておりますが、この間、125 代の天皇陛下をはじめ数知れない多くの国家の先人先達の皆様のはかり知れない御恩の上に我々は今を賜っているわけでありまして、深く感謝を捧げます。今、我々の前には経済問題など多くの課題が山積していますが、歴史の尊い歩みの前にはほんのひとときのこと、日々の懸命な努力とともに、はかり知れない天地、先人先達の御恩への感謝を日々深く捧げる中で、この厳しい状況も佳き節と成り、大きな芽も芽生え、将来の発展、弥栄へとお導きいただけるものと信じております。

天皇皇后両陛下の益々のご健勝と皇室の弥栄を衷心よりお祈り申し上げますとともに、日本国、そして京都府北部・丹後の末永い発展を心から祈念します。